

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-4-1	事務事業名 男女平等参画に関する意識啓発	所管部課 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
----------------	-------------------------	--------------------------------

施策コード 創1-3	施策名 男女平等参画社会の推進	施策目標 女性も男性もお互いに認めあい、対等なパートナーとして協力しあうことができる社会をめざします。
---------------	--------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	男女平等参画社会を実現するためには、一人ひとりが男女平等について理解する必要がある。そのために男女平等に関する意識づくりや、情報の提供、発信を行う。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	男女平等に関する講座を西東京市男女平等参画推進計画に沿った内容で開催し、意識啓発を行っている。主な事業としては、情報誌「パリテ」を作成して、関係機関に配布するとともに、平成24年度は市内全中学校生徒に配付するなど、若年層からの意識啓発にも力を入れている。また、パリテまつりを開催し参加人数は増加傾向にあるが、目標値を達成するために、今後は講演会を男女平等推進センター以外の施設で実施するなど、さらなる啓発を図っていく予定である。 (02.01.11.10男女平等推進施策事業費)	
	事業開始時期	平成13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		5,182	4,610	4,420	3,990
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		73	35	32	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		37	38	35	13
一般財源		5,072	4,537	4,353	3,977
所要人員(B)	人	1	1	1	1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,080	8,165	7,698	8,234
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	13,262	12,775	12,118	12,224
単位当たりコスト(E)=(D)/(パリテ登録団体数)	千円	1,658	1,278	1,010	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①パリテまつり参加人数	実績値 人	572	661	790	
②パリテ登録団体数	実績値 団体	8	10	12	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 パリテまつりの参加人数及び登録団体数の増加は、情報誌の配布や講座の開催の成果と思われる。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 次 パリテまつり参加人数	目標値 人	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値 人	572	661	790	
二 次 パリテ登録団体数	目標値 団体	10	10	10	15
	実績値 団体	8	10	12	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 パリテまつり参加人数は目標とはまだ開きがあるが、年々増加しているのは情報誌や講座開催の成果だと思われる。また、登録団体数は目標を達成したため、平成25年度より目標値を上方修正した。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民意識調査では、約8割の方がパリテを知らないと回答しているなど、依然としてパリテの認知度が低い状況にある。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 送付されてくる情報誌などを確認すると各自治体で情報誌の質や発行回数に大差はないと思われるが、近隣市(小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市)に確認したところ発行部数については各自治体様々であり、本市よりも少ない自治体もあれば、全戸配布している自治体もある。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 現在は、男女平等推進センターの運営は直営で行っているが、運営を委託することは可能だと思われる。

事業コード 7-4-1	事務事業名 男女平等参画に関する意識啓発	所管部課 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
----------------	-------------------------	--------------------------------

施策コード 創1-3	施策名 男女平等参画社会の推進	施策目標 女性も男性もお互いに認めあい、対等なパートナーとして協力しあうことができる社会をめざします。
---------------	--------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

○検証項目、評価の判断理由
○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
パリエまつりの参加人数やパリエ登録団体数は、男女平等という考え方が日常生活のどこにでも関係しているがために、身近にありすぎて意識化されにくい考え方であることを踏まえれば、順調に増加しているものと思われる。しかし一方では、市民意識調査において、市民の8割近くが男女平等推進センターパリエを知らないと回答しており、男女平等についての関心度が2極化している恐れがある。
男女平等の考え方は、日常生活にあまりに身近なために問題意識が希薄となり、潜在化してしまいがちであることから、男女平等の考え方について意識化し、改めて男女平等という考え方を広く市民に浸透させるため、情報誌の配布方法や講座の開催方法など意識啓発の方法を検討する必要がある。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	2	

○検証項目、評価の判断理由
○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
本事業は、男女平等に関する意識づくりや情報の提供、発信を図るものである。パリエの認知度は2割程度であるが、登録団体数が増えていることは評価できる。
今後は、若年層から高齢層まで幅広く男女平等の考え方が浸透していくように、広報や講座の開催方法を工夫して、意識啓発に努められたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>男女平等参画社会の推進に向けては、市民一人ひとりが男女平等に関する意識を持つことが重要であり、そのための意識啓発を行う本事業は、今後も引き続き行われるべきものである。</p> <p>パリエまつり参加人数やパリエ登録団体数の増加に見られるとおり、本事業による男女平等に関する意識づくりは進んできているものと思われるが、今後は、二次評価においても指摘のとおり、幅広い層に意識が浸透するよう、無関心層に対する意識付けに努められたい。</p> <p>ただし、コスト効率化の観点からは、情報誌の編集・発行等に当たってのさらなる工夫・改善を図られたい。</p>